

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	DAW I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	DAW I		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ギターコース・ベースコース・ドラムコース・シンガーソングライターコース ・ギターヴォーカルコース・ヴォーカルコース ・ダンスヴォーカルコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経歴13年 ギタリストとして様々なアーティストのサポートでライブやレコーディングに参加。また、アイドルや声優の楽曲やCMのサウンドロゴの作編曲。MIX、MASTERINGまで自身で行い、ライブではマニピュレータとしての活動も行っている。					
授業概要						
音楽制作ソフト(DAW)でのトラック制作の方法の習得および技術の向上、他コースとのコミュニケーションや各楽器の違いや知るべき知識の習得。						
到達目標						
PCの操作法を学び、現代音楽の制作が出来るように(自分で創るオリジナリティを曲や音で活かせるように)なる知識、実践方法を学ぶ。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	PCの操作方法の指導、音楽制作ソフト(DAW)の操作方法の指導 ・PC、DAWの基礎知識(起動/USBorGoogleDriveへの保存) ・オーディオインターフェースの役割と使用、接続方法					
【前期】 6～10回目	各楽器の理解・プログラミング法(打ち込み)の指導 ・各作業用ツールの説明 ・4分音符(8分・16分・3連符・6連符)のクオンタイズの説明と理解					
【前期】 11～15回目	ドラム、ベース、キーボード、シンセサイザー等各楽器の仕組みの理解 ・各楽器を理解し、4小節(16小節+α)の課題曲の作成					
【前期】 16～19回目	「前期試験対策」 ・PC操作、各楽器の理解、プログラミング(MIDI打ち込み)、課題曲の作成の総復習					
【後期】 20～29回目	各楽器にフォーカスを合わせた課題曲の作成 ・1コーラスを目標に各楽器がメインになったジャンルの課題曲を複数作成 ・ボーカル、ギター、ベースなどの生データのレコーディングの仕組み、実践 ・エフェクト処理(アンプシミュレーター、パンニング、コンプレッサー、エコー、ディレイ) ・マイクの種類やファンタム電源等、レコーディング機材の知識を学ぶ					
【後期】 30～34回目	ツーマックスのバウンス作業 ・エフェクト処理を使い、ミックスに必要な知識を学ぶ ・エフェクト(プラグイン)を使用しマスタリングの実践(AI含む)					
【後期】 35～37回目	「後期試験対策」 ・生データのレコーディング、ミックス・マスタリングを使用した課題曲の作成の総復習					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	音楽理論Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音楽理論Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ヴォーカルコース・ダンスヴォーカルコース・シンガーソングライターコース ギターヴォーカルコース・サウンドクリエイターコース・ギターコース ベースコース・ドラムコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	実務経験33年 ギター演奏を中心に多数のレコーディングやアーティストサポート、アーティストへの楽曲提供、 劇伴、作編曲、楽曲プログラミング、教則本の執筆やトレーナーなど活動は、多岐に渡る。					
授業概要						
音楽に関する基礎的な音楽理論(ベーシックセオリー)を学び音楽に対する基礎的な知識を身に付け、 楽曲制作や演奏する楽曲の理解や実演奏へのフィードバックさせる為の授業内容になってます。						
到達目標						
アーティスト、演奏家にとって大事な共通言語とされる 基礎的な音楽理論の理解を深め自己の演奏に反映させ修得出来る事を目指す。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	基礎知識(1) ・音楽記号・拍子記号・音名・音符・休符・音の高さ ・調号、Keyに付いて、#系とb系(1)・Tone Interval(1)1度、3度、5度、7度音程(完全、長、短、減)					
【前期】 6～10回目	基礎知識(2) ・調号、Keyに付いて、#系とb系(2)・Tone Interval(2)1度、3度、5度、7度音程(完全、長、短、減) ・Degree(度数)表記(1)Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ-Ⅴ-Ⅵ-Ⅶ・サークルオブフィフス(五度圏)・コードネームの表記方法(1)					
【前期】 11～16回目	基礎知識(3) ・調号、Keyに付いて、#系b系(3)・Tone Interval(3)1度、2度、3度、4度、5度、6度、7度音程(完全、長、短、減) ・Degree(度数)表記(2)Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ-Ⅴ-Ⅵ-Ⅶ・Major Scale上に出来る三声、四声と音・コードネームの表記方法(2)					
【前期】 17～19回目 (前期試験)	Diminished(減5、減7)音程、Augment(増5)音程から出来る和声とは、/ Chord FunctionからDominant Motion / Secondary Dominant ・Diminished Chord、Augment Triad Chord・ダブルフラット、ダブルシャープ ・Chord Function(1)・Dominant Motion(1)・導音、トライトーンとは、何か・Secondary Dominant(1)二次的なDominantとは、					
【後期】 20～25回目	ケーデンスに付いて、 ・ケーデンスのパターン Tonic Sub Dominat Dominantの進行パターン ・Dominant Motion(2)・Secondary Dominant(2) Secondary Dominantを使ってみる					
【後期】 26～30回目	転調のパターン / コードプログレッション ・平行調、同主調、近親調、遠隔調・各調へのコードプログレッションなど ・Dominant Motion(3)・Secondary Dominant(3)					
【後期】 31～35回目	[Logicの使い方応用 3] ミックスでよく使われるイコライザやコンプレッサーの基礎知識や使い方を学習し、 自作曲のクオリティを上げるような学習。					
【後期】 36～37回目 (後期試験)	Tonic minor Scaleとは(2) ・Natural minor、Harmonic minor、Melodic minor Scale上に構築されるダイアトニックコードとDegree(度数) ・Natural、Harmonic、Melodic上に構築されるダイアトニックコードダイアトニックコードとDegree(度数) / コードプログレッション					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	分野別講座	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	44回(88単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽アーティスト科全コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験5年以上の各科目担当講師。現場での豊富な経験と技術への深い知見をもとに次世代の育成に取り組む。				
授業概要					
専攻コースの授業内では習得の難しい様々な分野の基礎知識を、動画配信によるオンライン授業形式で行う。					
到達目標					
自身が音楽・芸能活動や仕事を行う上で、大半の事は自分で理解・判断し、達成への方法論を自ら考え出せる事を目標とする。					
授業計画・内容					
【前期】 1～6回目	ビジネス文書				
【前期】 7～14回目	コミュニケーションについて				
【前期】 15～17回目	・音楽活動における基礎知識 音、電気、マイクスピーカーについて				
【前期】 18～19回目	所得税と源泉徴収・確定申告				
【前期】 20～23回目	音楽業界基礎知識＃1-3				
【後期】 24～44回目	音楽業界基礎知識＃4-25				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	アーティスト実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	アーティスト実地演習Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ヴォーカルコース・ダンスヴォーカルコース・シンガーソングライターコース ギターヴォーカルコース・サウンドクリエイターコース・ギターコース ベースコース・ドラムコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～3回目	アーティスト特別セミナー				
【前期】 4～6回目	個人プロフィール制作				
【前期】 7～9回目	各コースイベント				
【前期】 10回目	アンサンブル発表会				
【後期】 11～13回目	コースイベント				
【後期】 14～16回目	ライブ見学				
【後期】 17～19回目	アンサンブル発表会				
【後期】 20回目	コース別ファイナルイベント				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	アンサンブルⅠ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	アンサンブルⅠ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ギターコース、ベースコース、ドラムコース、ヴォーカルコース シンガーソングライターコース、ギターヴォーカルコース ダンスヴォーカルコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験14年 自身の活動として楽曲配信やソロアルバムを発売、Youtubeにおいてはレッスン動画や業界の知識を配信等、積極的に活動。またエンジニアとしても活動しておりミックスやマスタリング、そして作曲等も全て自主でこなし、楽曲提供や数々の著名なヴォーカリストと共演。				
授業概要					
コミュニケーションを第一に既成曲を題材に、互いに周りの人の音をよく聞き、合わせる力を磨く。 アンサンブルフェスティバル＝ライブを想定した楽曲やライブ構成(MCや曲間の繋ぎ)、アンサンブルに必要な要素(テンポ、譜面、リズムの取り方、パフォーマンス)の重要性を学ぶ。 題材楽曲を通して演奏方法や楽曲に適したアレンジ方法、聞き手への伝え方を学ぶ。 MV・DVダンス学生が半期で入れ替えの為、半期毎の目標に向かって経験に応じたスキルアップを目指す。通年必修の学生は①～⑧課題曲に取り組み、迅速な対応と理解を深める。					
到達目標					
合奏する事やライブの楽しみ方・喜びを知り、それを自身の演奏や表現で他者にも伝えられるようになる。 授業内アンサンブルクラスでの関わりを通して「自分の役割」を理解・見つける経験を積み、音楽人としてだけでなく今後の社会生活にも役立てる。 コミュニケーション能力やアレンジ能力に長けたアーティスト・ミュージシャンとして現場で活躍できる人材となる。					
授業計画・内容					
【前期】 1～33回目	アンサンブルとは何か 課題曲①～④ アンサンブルフェスティバルへ向けて				
34～38回目	アンサンブルフェスティバルの事前資料作成 ・セット図の書き方を学び、作成する。 ・アンサンブルフェスティバル本番仕様の尺やアレンジ、メイクや衣装も当日のものとする。 ・本番を想定した演奏動画の撮影を行う。				
【前期】 39～42回目	半期のまとめ ・アンサンブルフェスティバルや通常授業を振り返り、反省点や良かった点をピックアップ。今後どうすれば更に向上出来るかを話し合う。				
【後期】 43～70回目	アンサンブルとは何か 課題曲①～④ アンサンブルフェスティバルへ向けて				
【後期】 70～71回目	アンサンブルフェスティバルの事前資料作成 ・セット図の書き方を学び、作成する。 ・アンサンブルフェスティバル本番仕様の尺やアレンジ、メイクや衣装も当日のものとする。 ・本番を想定した演奏動画の撮影を行う。				
【後期】 72～74回目 (後期試験)	半期のまとめ ・アンサンブルフェスティバルや通常授業を振り返り、反省点や良かった点をピックアップ。今後どうすれば更に向上出来るかを話し合う。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	リズムレ&スコアリーディング		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	リズムレ&スコアリーディング	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ギターコース、ベースコース、ドラムコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験38年 単身ヨーロッパ各地でのギグに参加し、ジャンルに拘らず、ジャズはもちろんのことフュージョン、ロック、ラテンと幅広いリズムに精通するオールマイティ。自身のバンドのリーダーとして都内を中心にライブ活動を展開中。				
授業概要					
音楽の三大要素「リズム」にまつわる感覚と知識を、担当楽器によるリズムレ・アセスメントとアカデミー講義から学ぶ。					
到達目標					
専科の楽器演奏の際にBeatをコントロールする感覚とtempoのキープ、そしてFeelのマニピュレイトを実現する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	「4分音符アセスメントとリズムの概要」 ・4分音符のテンポキープのアセスメント(J=60～120)・リズムとは何か ・Beatとは何か ・Beatリズムの世界分布と価値 ・リズム哲学 ・メトロノームの使い方				
【前期】 6～10回目	8分音符アセスメントとBeatとFeelの分類 ・8分音符のキープアセスメント(J=60～120)・8分音符の裏キープアセスメント ・BeatとFeelとは何か ・Feelの種類 ・ノリの構造分解(縦・横)				
【前期】 11～15回目	16分音符アセスメントとスピード感 ・16分音符のキープアセスメント(J=60～120)・フロント・ジャスト・ビハインド ・16分の裏キープアセスメント ・テンポとスピード感の違い。・Feelとスピードのリレイション ・ダブルタイム ・2Beat ・4Bbeat				
【前期】 16～20回目	3連と6連のアセスメントとFeelとBeatのキャッチボール ・3連符のキープアセスメント(J60～120)・3連の裏キープアセスメント ・音源によるFeelとBeatの聴覚レッスン ・FeelとFILL INのリレイション				
【後期】 21～24回目	トランスフォーメーション、Beatリズムのヒストリー ・各種音符のチェンジアップとアセスメント。・Beatリズムの起源と因果 ・黒人音楽 ・ジャンルとFeelのリレイション ・スピリチュアル ・ダンス ・タメともたり、ツツコミと走り。				
【後期】 25～29回目	シンコペーションのアセスメント、プログレス・リズム講① ・シンコペーションキープのアセスメント。 ・Jazz・Classic Blues・Country Blues・Gospel・City Blues・Chicago Blues・Jump Blues・R&B				
【後期】 30～34回目	アドバンス・リズムのアセスメント、プログレス・リズム講② ・シャッフル・リズムの実践とアセスメント。・doo-wop ・Modern Jazz ・Modern Blues ・R&R ・Soul ・Northern Soul ・Southern Soul・Motown ・Stax ・Atlantic				
【後期】 35～37回目	アーティキュレーション、プログレス・リズム講③ ・包括的総合実習とアセスメント。・Funk・Modern Soul・70年代MOTOWN・Sweet Soul・Modern Gospel・Fusion・Disco・Garage ・Black Contemporary・Rap(Hip・Hop)・Contemporary R&B				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	ベーストセオリ―		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ベーストセオリ―	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ベースコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	実務経験13年 学生時代に複数のコンテストで最優秀賞を受賞。アニメ作品やゲーム音楽公式バンド、ゲーム音楽、劇伴などの有名アーティストのライブ、ツアー、レコーディングに参加。					
授業概要						
・ベースに必要な機材を学ぶ。 ・楽譜について学び、音楽家に必要な知識を学ぶ。						
到達目標						
・ベース本体の特徴や代表的なエフェクター、アンプ仕組みを理解し、自分のプレイスタイルに合ったベースを選べるようにする。 ・ベースに関係する職業を知り、必要な知識を学ぶ。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	イクイップメントⅠ ・ベースの歴史・ベースの種類・ベースの調整法					
【前期】 6～10回目	イクイップメントⅡ ・ケーブルの種類・アンプの使い方、種類					
【前期】 11～15回目	イクイップメントⅢ ・エフェクター(ダイナミクス)・エフェクター(歪み)・エフェクター(空間系)					
【前期】 16～20回目	イクイップメントⅣ ・前期内容を組み合わせた音作り・「前期試験」					
【後期】 21～24回目	音楽の仕事について ・実演家・講師・作編曲					
【後期】 25～29回目	楽譜の読み書きⅠ ・スコア、パート譜・聴音					
【後期】 30～37回目	楽譜の読み書きⅡ ・リードシート・聴音・後期試験対策＆後期試験					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	ベースフィジカルトレーニング		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	フィジカルトレーニング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ベースコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	バンドでCDメジャーリリース、2023年秋にはヨーロッパツアーを行う。 バンド活動の他、ライブサポートやレコーディング、楽器屋の教則動画の講師、楽器機材メーカーモニターも務める。					
授業概要						
楽器演奏において必要なフォーム、奏法、持久力を鍛える。 理論に基づいて様々な楽曲に対応できるように演奏力を養う。						
到達目標						
・長時間の演奏を可能にするフォームの習得 ・様々な調号とコードに対しての知識の習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	リズムトレーニング ・クリックを使ったトレーニング ・2finger、ピック弾き、Slapのフォーム確認					
【前期】 6～11回目	クロマティックトレーニング ・左手のフォームづくり ・右手の持久力アップ					
【前期】 12～16回目	インターバルトレーニング ・Cメジャー・スケールを使用したスケール練習 ・インターバルを確認しながら2度から10度までのトレーニング					
【前期】 17～20回目 (前期試験)	サークルオブフィフスを使ったアルペジオ ・メジャーコードアルペジオ ・マイナーコードアルペジオ					
【後期】 21～24回目	様々なポジションでのスケール ・ペンタトニックスケール ・メジャースケール、マイナースケール					
【後期】 25～28回目	ミュートトレーニング ・音価、休符の感覚の獲得					
【後期】 29～31回目	コード展開アルペジオ ・1st Inversion、2nd Inversion、3rd Inversionでのアルペジオ					
【後期】 32～37回目 (前期試験)	ディグリーアルペジオ ・様々なキーでのアルペジオトレーニング					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	ベースベーシックⅠ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ベースベーシックⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ベースコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験3年。学生時代にESPでベースストグランプリを受賞。卒業後、レコーディングやサポート業を開始。 現在は音楽レッスンスタジオを開業し経営しつつ、様々なアーティストやゲームミュージック などのバックバンドやレコーディングに参加し、サポートベースストとして活動中。					
授業概要						
ベースストとしての基礎を固めるために、右手左手のフォーム、運指練習、音符(休符)の長さ、 ミュート、様々なジャンルに対するベースラインの構築などベースストとして活動する上で必要な基礎知識の習得。						
到達目標						
基礎実技、知識の習得。 ・初見で譜面を見て、書かれている音符を正確なリズムや音程で弾ける。 ・多様な奏法に対応できる能力(オクターブ、タッチミュート、レイキング等) ・様々なジャンルの音楽に対してのベースライン構築の理解と研究						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	基本的なフォーム、リズムパターン、基礎運指練習 ・ベース本体、右手左手の基本フォーム ・様々な音符や休符の長さの理解 ・多様な楽曲に対応するための基礎運指練習					
【前期】 6～11回目	様々なベースライン① ・全～8分音符(休符)まで十付点、タイ、スタッカートが使用されているフレーズ、ブルース進行 の譜読みと演奏。					
【前期】 12～16回目	様々なベースライン② ・16分音符(休符)、シンコペーション、オクターブ、シャッフルの譜読みと演奏。 ・ハンマリングやタッチミュートのトレーニング					
【前期】 17～19回目 (前期試験)	様々なベースライン③ ・4ビートでの4分音符ランニングベース ・3連符ベースラインフレーズ					
【後期】 20～23回目	様々なベースライン④ ・ピッキングミュート、ゴーストノートを使用したフレーズの演奏 ・レゲエフィルのベースライン					
【後期】 24～26回目	様々なベースライン⑤ ・小節をまたぐシンコペーションや3拍フレーズでのシンコペーションのフレーズ演奏 ・16ビート1発モノのランニングベースの演奏					
【後期】 27～30回目	様々なベースライン⑥ ・3連符4つ割りフレーズの演奏 ・16分弦跳びアルペジオの3つ割りフレーズの演奏					
【後期】 31～37回目 (前期試験)	様々なベースライン⑦ ・多様な拍子(3/4、6/8、5/4、8/7)のフレーズを演奏					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	ベシストパフォーマンスⅠ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ベシストパフォーマンス	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ベースコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	実務経歴9年。 ESPエンタテイメント東京を卒業後、自身のバンド運営・活動、ライブを中心としたアーティストサポートを開始。俳優・声優のベースレッスン、パフォーマンス指導なども行っている。					
授業概要						
社会人、アーティストとして知っておきたい知識や基礎的なスキルを学び実践。クラス内のディスカッションも交えて、バンド活動において重要な、人とのコミュニケーションの取り方、自己アピール力を養う。ベースコースイベントで使用する音源制作を通して、DAWの基礎知識を養う。						
到達目標						
社会人、アーティストとして必要な、以下に示す知識・スキルの習得。 ・セルフプロデュース：基本的なSNSの活用、音楽業界を中心とした対人マナー ・バンド運営方法：バンド運営の心得、ライブに必要な知識、コミュニケーション力 ・DAWを使用した基本的な音源制作(※発表会で使用)						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	自己分析、目標設定、プロフィール作成 ・自己紹介→自分を見つめるための簡単な年表作り→年表を元にしたプロフィール作成 ・自分のやりたいことを書き出し、目標を設定→目標達成シートの作成					
【前期】 6～11回目	バンド運営マニュアル【初級編：バンドを始めたら】 ・バンドプロフィールの作成：メンバーの魅力を伝えることで分析力・プレゼン力を養う ・スタジオレンタル方法、セッティングの基本、譜面アプリの活用方法 ・メールの書き方、各種データのやりとりの方法、PC用語の説明					
【前期】 12～16回目	SNS・配信の活用 ・主要SNSと配信アプリ、そのメリット・デメリットの紹介 ・自分が狙いたい層を踏まえてSNSで新規アカウント作成→年度末まで運用してみる ・SNSに載せるためのショート動画作成					
【前期】 17～19回目 (前期試験)	バンド運営マニュアル【中級編：ライブ基礎知識】※アンサンブル発表会で活用 ・用語の説明、ライブハウス提出書類・セット図の書き方、リハーサルのやり方 ・ライブ出演の方法、ライブハウスの仕組みとは ・発表会の見所アピール：プレゼン力・集客力を養う					
【後期】 20～23回目	バンド運営マニュアル【上級編：集客・告知の実践】※ペーパフォのイベント周知にも活用 ・画像編集ソフトを使用したイベントフライヤーの作成 ・イベント告知動画の作成 ・音源制作フォロー					
【後期】 24～26回目	発表会に向けて①パフォーマンス研究 ・春に作った資料を元に、自分の魅力を引き立たせる衣装の選定、ステージング研究 ・音源制作フォロー					
【後期】 27～30回目	発表会に向けて②ゲネプロ ・前テーマで決めたステージングを意識して教室内で発表、撮影→クラス内でよかった点や改善点など意見を出し合い、お互いをプロデュースする ・音源制作フォロー					
【後期】 31～37回目 (後期試験)	1年間のまとめ・実践：発表会(＋コンテストなど)に向けて ・イベントに必要な資料作成、告知材料の作成→告知を実践 ・パフォーマンス研究→クラス内でゲネプロ、お互いの改善点など意見を出し合う ・授業開始当初に設定した目標の振り返り、運用してきたSNSの分析					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽アーティスト科

授業科目名	ベースアーティキュレーション		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ベースアーティキュレーション				
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ベースコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経歴17年 様々な楽器の演奏をこなし、自身のバンドにおいては国内外を問わずライブ活動を展開中。数多くの大型野外フェスティバルにも出演経験あり。劇団四季ミュージカルライオンキングに10年以上に渡り出演中。					
授業概要						
他授業で学んだ基本的な奏法等を実際の演奏の中でどのように使用するか、また、効果的なニュアンスを出す方法論を学ぶ。 様々なリズムパターン、ビート、フレーズにおいて、それぞれに対して効果的なベースラインを構築する為の分析。						
到達目標						
出したいサウンドやフレーズを正確に演奏出来るスキルを磨く ・奏法技術の向上と応用・様々なジャンルで演奏されるフレーズの特徴の分析 ・どういった演奏方法をとれば出したいサウンドになるかの研究						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	サウンドコントロール ・音量コントロール(ピアニッシモからフォルティッシモ) ・音色コントロール(ピッキングポイントやタッチコントロール)					
【前期】 6～10回目	左手のテクニックの応用 ・ハンマリング&プリング・スライド、グリス ・ウィブラート					
【前期】 11～15回目	右手のテクニックの応用 ・指弾き・ピック・スラップ 上記3つを使用したフレージング					
【前期】 16～20回目 (前期試験)	様々なビートに対してのアプローチ ・8beat・16beat・3連系					
【後期】 21～23回目	フレージング ・ゴーストノートの使い方・和音フレーズ・ミュートの使い方					
【後期】 24～26回目	ジャンルの違いによるフレーズの特徴 ① ・ロック・ファンク					
【後期】 27～30回目	ジャンルの違いによるフレーズの特徴 ② ・アフリカン・ラテン・レゲエ					
【後期】 31～37回目 (後期試験)	他の楽器のニュアンスのつけ方を学ぶ ・ギター・管楽器・歌					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						